

平成二六年度（二〇一四年度） 神戸大学大学院国際文化学研究科博士課程（前期課程）

地域文化系領域 入学試験問題（基礎科目…日本語）

（注）問題用紙四枚、解答用紙三枚

問一～三の解答は、それぞれ指定された解答用紙に記入すること

問題

次の文章を読み、問一～三に答えなさい。

（引用文省略）

（屋嘉比収『沖縄戦、米軍占領史を学びなおす―記憶をいかに継承するのか―』世織書房、二〇〇九年、「はじめに」一～五頁。なお一部を改めた。）

問一 傍線部 a（平和の礎がたんなる「モニュメント」としてではなく、戦没者を慰霊する「メモリアル」として位置づけられている）はどのようなことか、意見の違いをふまえながら一五〇字以内で説明しなさい。

問二 傍線部 b（沖縄戦の〈当事者性〉を、いかに獲得していくことができるか）について、筆者の考えを三〇〇字以内で説明しなさい。

問三 傍線部 c（沖縄戦の語り口における変容）はどのようなことか、筆者の考えに即して一〇〇字以内で説明しなさい。